

講義名	キャリア実践論（3年生のみ）		
科目区分	キャリア		
担当教員	小幡 祐可子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。就活は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。</p> <p>授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。</p>

到達目標
<p>到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の間に、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SPI等の筆記試験対策で得意・不得意な分野を自己評価する。 ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめる。 ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていく。 ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。

提出課題
<p>毎回のミニレポート、課題（宿題）、期末レポートを提出する。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施する。また、毎回の授業で提出するミニレポートについては、次の授業の冒頭で、内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。</p>

評価の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、毎回の授業に関連してのミニレポート（45点） ・提出課題（宿題）（10点） ・授業内での小テスト（筆記試験）（10点） ・期末レポート（35点）

履修にあたっての注意・助言他
<p>この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る、私語を慎む等）を守ること。3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、就職希望の学生は必ず受講し、日頃から新聞等で社会全般についての情報に関心を持つこと。グループワークに積極的に参加をすること。</p>

教科書
<p>・使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>必要に応じて資料を配布する。</p>

授業計画
<p>回数 授業計画 1 イントロダクション：就職環境の現状と課題 2 働くことの意味 3 社会・企業を取り巻く環境 4 業界研究・企業研究① 5 業界研究・企業研究② 6 職種研究 7 筆記試験① 8 筆記試験② 9 自己分析 10 エントリーシート・履歴書 11 グループディスカッション 12 面接① 13 面接② 14 就職活動の戦略の立て方 15 まとめ</p> <p>※受講者の人数や状況に応じて講義内容やスケジュールは変更される可能性がある。</p>

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>○ ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>○ エ：グループワーク</p> <p>○ オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>就職活動をするために、授業内での宿題や課題だけでなく ①自己分析 ②業界地図や就職四季報、企業HP等での企業研究・仕事研究 ③SPIなどの筆記試験対策 以上①～③について1日1時間は時間をかけて準備をすること。 具体的な方法は授業内で紹介していく。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>授業内では常に4～5人で意見が交わせるように「Open & Share」を繰り返し、教員はファシリテーションを行う。場合によりクリッカー（Respon）を使用し、リアルタイムで全体の意見を共有したり、解説をする。</p>

実務経験の有無及び活用
<p>実務経験あり キャリアコンサルタントの国家資格を有し、企業研修、人材育成、大学生の就職支援並びにキャリア教育に携わる。 また、アパレル業、ブライダル業での実務経験の他、フリーアナウンサーとして活動をしている。 その経験を生かして、大学での学びや大学生生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行う。</p>

備考